

# 学術研究助成課題研究

## 「研究報告概要版」の作成について

学術研究助成課題研究「研究報告概要版」は『保育士養成研究所報告書』に掲載をいたします。つきましては、下記の要領で作成、提出をしてください。

### 1. 「研究報告概要版」原稿の体裁等

- ① 表紙の体裁は【様式2-3】をご参照ください。
- ② 余白 上 30mm、下 25mm、左右 22mm、ヘッダー・フッターともに 10mm
- ③ 1 頁の文字数 44 字×43 行(厳守)
- ④ 本文は MS 明朝 10.5pt、英数字は century 10.5pt 全て半角、「( )」は全角とします。
- ⑤ 文末は、常体(「だ」「である」)に統一してください。
- ⑥ A4版片面印刷で 8 頁以上 10 頁以内にまとめてください。
- ⑦ 5 部提出をしてください。概要版は、コピー、ホチキス止めでも構いません。

### 2. 題名、副題

- ① いずれも MS ゴシック 11pt

### 3. 研究者名(所属)

- ① 研究者名(所属)は MS 明朝 9pt
- ② 1 行に 2 名ずつ、中央揃えで表記してください。
- ③ 研究者の所属は令和7年(1年計画)・令和8年(2年計画)3月31日現在

### 4. 見出し、小見出し

- ① 本文 中の見出しは、「Ⅰ.Ⅱ.Ⅲ.」MS ゴシック 10.5pt 全角で左寄せとします。  
見出しと本文の間は 1 行空けてください。
- ② 小見出しは、「1.2.3.」、「(1)」、「(2)」、「(3)」、「①」、「②」、「③」、「ア」、「イ」、「ウ」の順で番号を付してください。  
第 1 小見出し「1.2.3.」は MS ゴシック 10.5pt 全角で、第2小見出し以降は MS 明朝 10.5pt 全角で、左寄せとします。  
小見出しと本文の間は詰めてください。

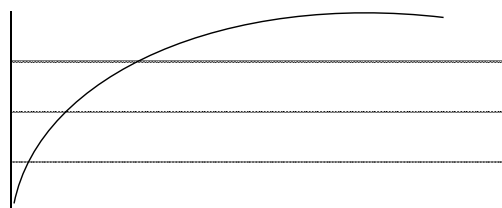
### 5. 図表

- ① 図表の表題は、「図」と「表」に分けず、「図表」として通し番号を振ることとします。
- ② 図表の表題フォントは MS 明朝、英数字は Century 共に 9 ポイント、英数字は半角とします。
- ③ 表題は、「表」の場合は上に、「図」の場合は「下」に、中央揃えで記載してください。

例 1

例 2

図表1-1-1. 表題 (MS明朝、英数字はCentury共に9ptで記入。)

図表1-1-2. 表題 (MS明朝、英数字はCentury共に9ptで記入。)

- ④ 図表内のフォントは MS 明朝、英数字は Century 半角で、文字サイズは任意とします。
- ⑤ 図表の基データは原稿と一緒に必ずご提出下さい。

※ 編集作業で調整するために元データが必要となります。

## 6. 注、引用文献、参考文献

- ① フォントは MS 明朝 9pt、英数字は Century 半角 9pt で、「( )」は全角とします。
- ② 注、引用文献はそれぞれ通し番号を付け、各部の本文の最後に記載して下さい。
- ③ 「注」は、本文中の該当箇所の右肩に、<sup>注1)</sup>、<sup>注2)</sup>の番号を付して記載して下さい。
- ④ 「引用文献」は、本文中の該当箇所の右肩に、<sup>1)</sup>、<sup>2)</sup>の番号を付して記載して下さい。

○雑誌の場合：著者名（発行年），論文題名，『誌名』，巻数（号数），頁．

例 1) 吉田和人(2002)，「幼児のボールキック運動の特徴」，『保育学研究』，40(2)，pp.50-51

○単行本の場合：著者[あるいは編者名]（発行年），『書名』，発行所，頁．

例 2) 高濱裕子(2001)，『保育者としての成長プロセス-幼児と野関係を視点とした長期的・短期的発達』，風間書房，p.75．

○複数の著者によって書かれた単行本の特定部分を引用する場合：章・節の著者名（発行年），章・節のタイトル，本の著者[あるいは編者名]，書名，発行所，頁．

例 3) 野口啓示(2018)，「現代社会における社会的養護の意義」，伊藤嘉余子・福田公教編著，『MINERVA はじめて学ぶ子どもの福祉5 社会的養護』，ミネルヴァ書房，p16．

○政府刊行物等の引用は、“編集機関名（出版年） 書名、出版社。”の順で記載する。

例4) 厚生労働省(2018) 平成 30 年度版厚生労働白書。

○ウェブページからの引用は、“機関名、ページのタイトル URL（閲覧日）”の順で記載する。

例 5) 内閣府 子ども子育て本部について

<http://www8.cao.go.jp/shoushi/about.html> (2018 年 12 月 8 日閲覧)

- ⑤ 「参考文献」は、筆頭著者のアルファベット順に記載する。

例：繁枘算男・柳井晴夫・森敏昭(1999)，

Q&A で知る統計データ解析-DSs and DON'Ts-, サイエンス社